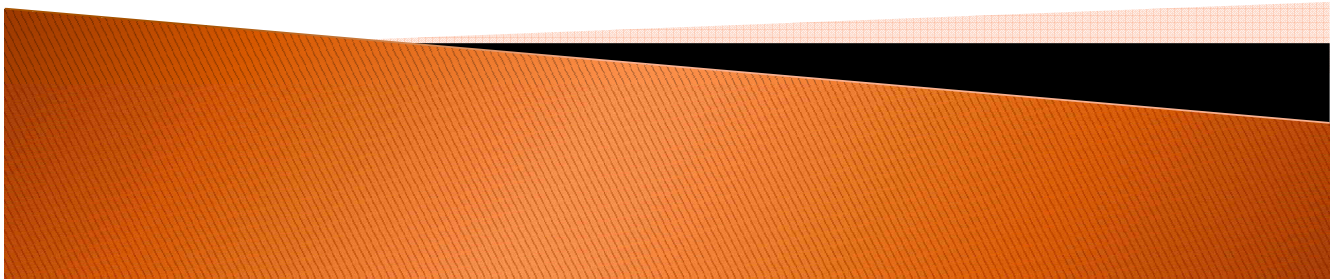
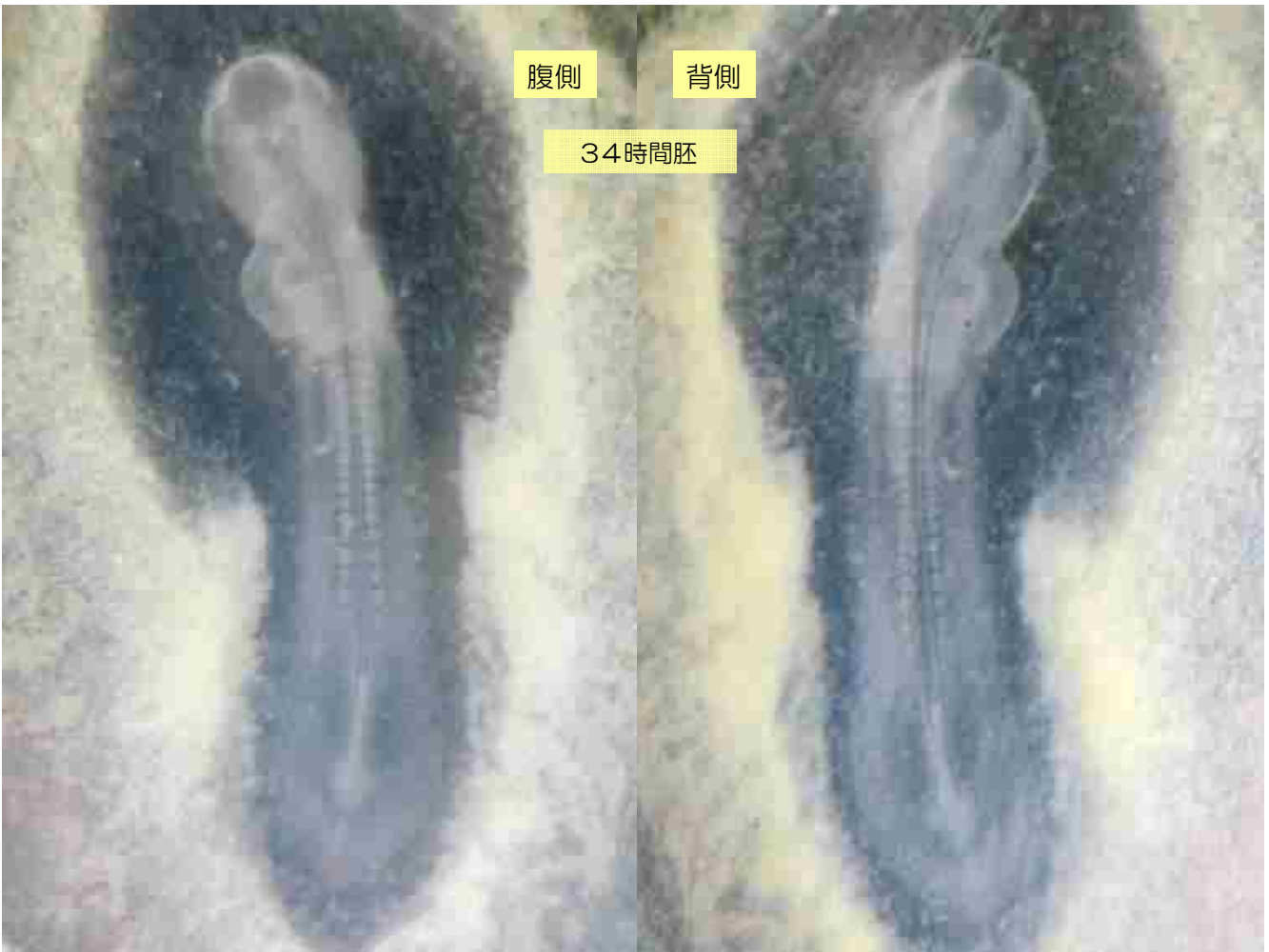


Newの培養法による ウズラ初期胚の観察

標本作製：兵庫県立須磨東高等学校
34回生(2年理系クラス)







発生が進むにつれ
神経管が閉じていき、
体節が増え、眼胞が大きくなり、脳も発達してくる



背側

眼胞

耳胞



背側

前脳

中脳

眼杯

後脳

耳胞

頭の回転がはじまり、
耳胞、眼杯がはっきり見えてくる



腹側

心室

心房

前腸門

耳胞



背側

眼杯と
レンズの原器

鰓裂

心臓

羊膜

羊膜が背中側にまわって閉じていく
心臓の拍動が力強くなる
眼にはレンズが作られる